

えがお大東っ子

第53号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranooosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

大東市の GIGA スクール構想の実現に向けた取り組みについて



GIGA スクール構想って何？

Society5.0（超スマート社会）に求められる能力の育成に向け、子ども一人ひとりがインターネットにつながったパソコンを活用することでそれぞれの学習のニーズに合った学びを進め、「生きる力」を確実に育成できる教育 ICT 環境を整備するための計画のことをいいます。

大東市では、全校に順次配備を進め、パソコンを使った学習を推進していきたいと考えています。



授業で効果的な活用をめざして

次のような学習を通して、子ども一人ひとりの特徴や実態に応じた学びの保障を実現します。

- ①先生が児童・生徒の学習状況を把握して、きめ細やかな指導ができるようになります。
- ②写真や動画などを用いて、自分の考えを簡単にわかりやすく示すことができます。
- ③一人ひとりに合わせたペースや内容で学習を進めることができます。
- ④デジタル教材とインターネット環境を組み合わせることで、簡単に情報発信や情報共有をすることができます。
- ⑤遠隔地や他校との交流などといった学校の壁を越えた学習など、新しい学習の形が可能になります。

感染症の拡大や自然災害による臨時休業等の緊急時において、学校に登校できない場合には、子ども・家庭と先生・学校をインターネットでつなぐオンライン学習ができることなど、さまざまな可能性があります。これからも有効な活用方法を検討していきます。

導入スケジュールについて

大東市の GIGA スクール構想の実現における整備について	導入機器	対象	11月	12月	1月	2月	3月	
	1人1台パソコン (小学校12校)	小学5・6年生(全児童分)		導入予定		活用開始予定		
		小学1・2・3・4年生(全児童分)				導入予定		
	1人1台パソコン (中学校8校)	中学1・3年生(全生徒分)		導入予定		活用開始予定		
		中学2年生(全生徒分)				導入予定		
端末保管庫(電源キャビネット)	小・中学校(20校)		導入予定					

大東市小中学生弁論大会 「心をことばに～伝えたい気持ち～」

令和2年11月13日、サーティホールにて第15回大東市小中学生弁論大会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、代表者の保護者など限られた参観者の中での実施となりましたが、これまでの大会と同様に、「弁論の部」では小学生997名、中学生2,167名の予選応募者の中から選ばれた10名の小中学生が、将来の夢や家族や友だちとの関わり、社会の出来事の中で心に感じたことなどを熱く語り、「1分間スピーチの部」についても、各小学校の5年生から1名、計12名の代表者それぞれが自分の学校の特徴や自慢できることを元気に紹介しました。

また、昨年度から実施した各小学校の4年生から1名、計12名の代表者による「作文展示の部」については、11月14日から23日まで大東市立市民会館1階にて展示しました。

◎「弁論の部」本選出場者は次の皆さんです。(敬称略)



【小学校6年生】
朴建禹、吉原萌華、泉谷歩佳、
秦みちる、下山綺貴



【中学生】
伊藤むつみ、北村梨乃、古塚愛果、
船津さくら、村山裕香

◎「1分間スピーチの部」出場者は次の皆さんです。(敬称略)

【小学校5年生】
森ノ木新、相岡絢海、林由結、中野真緒、前山暖和、
中井紗也花、鈴木心遙、前田真生、関口駿、安田七穂、
周鑫源、大久保優姫



◎「作文展示の部」出場者は次の皆さんです。(敬称略)

【小学校4年生】
吉村柑菜、小泉唯那、塩貝遙己、北川奈々榎、井原璃海、
郡奏人、中橋心春、古崎澄哉、北本海翔、前田隼杜、
吉村咲良、尾端一華

さすが、各校の代表者！！
素晴らしい作文ばかりでした！！

「こども会活動の紹介」～楽しい行事に参加してくださいね！～

大東市には、地域のこども会をまとめた「大東市こども会育成連絡協議会」、略して「市こ連」があり、次のような行事を行っています。

季節ごとに各地域のこども会に所属するチーム対抗のソフトボール、駅伝、ドッジボールなどのスポーツ大会が行われ、選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、白熱した大会になります。

また、こども会行事に興味を持っていただくためにみんなが工夫を凝らして作ったポスターやかべ新聞、行事に参加して体験したことやがんばったこと等を書いた作文を募集しています。毎年、素晴らしい作品がたくさん集まるので、展示・表彰式も開催しています。

そして、野外活動センターでは、ジュニアリーダー講習会（小学5年生）と大東アドベンチャークラブ（小学6年生～中学3年生）のキャンプ・野外活動を通して、多くの仲間たちが成長し、こども会や地域、学校のリーダーとして活躍しています。

このように市こ連の行事には、様々な学校や幅広い年代の参加者が集まり、学校や学年を超えた友だちができる楽しい行事がいっぱいです。皆さんも、ぜひ参加してくださいね！



放課後子ども教室体験教室

11月12日（木）と17日（火）の2日間にわたり、住道南小学校の5年生を対象に、ポッチャの体験教室を行いました。指導にあたったのは、以前この「えがお大東っ子」でも紹介させていただいた大東市スポーツ推進委員の皆さんです。

初めてポッチャを体験する子どもたちも多かったのですが、スポーツ推進委員さんの指導のもと、子どもたちはすぐにルールを理解し、みんなで楽しくゲームを行っていました。ときには喜びの声をあげたり、拍手が起こったりと、ゲームを行っている子も見学をしている子も和気あいあいと有意義な時間を過ごしました。

体験教室の終わりには「またポッチャをやりたい！」と全員が手を挙げ、とても価値のあるものとなりました。今回の体験教室で学んだポッチャの面白さを、子どもたちが親や兄弟、友だちに話し、皆がポッチャをやってみたいと思うようになり、今後はポッチャを実施している地域ファミリースポーツ大会等での参加者が増えて、その普及につながることを願っています。



時代とともに移り変わるくらしや道具について知る
大東市立歴史民俗資料館 令和2年度冬季展覧会
「ちょっとむかしのくらし」展

毎日当たり前のように使っている私たちの身の回りの道具は、いったいつから使われているのか考えたことはありますか。カラーで映るテレビや、携帯電話、夏に欠かすことの出来ないエアコンなどといった身近な道具は、「昭和」という時代に生まれました。

去年は新しい「令和」の時代が始まりましたが、「平成」の前に64年間続いた「昭和」という時代は、戦争があった一方で「大東市」が誕生し人口が増え、技術の発達とともに便利な道具が次々と生まれた時代でもありました。

本展では、こうしたくらしや道具を紹介するとともに、便利な道具がなかった時代にはいったいどのような道具を使っていたのか、人々の工夫や生活の様子も紹介します。教科書でも紹介されている昔の道具や市の古い写真を見ていただき、お父さんやお母さん、または、おじいちゃんやおばあちゃんが子どもの時にどんなくらしをしていたのか、語り合う機会になれば幸いです。



写真1 居間と台所を再現した展示

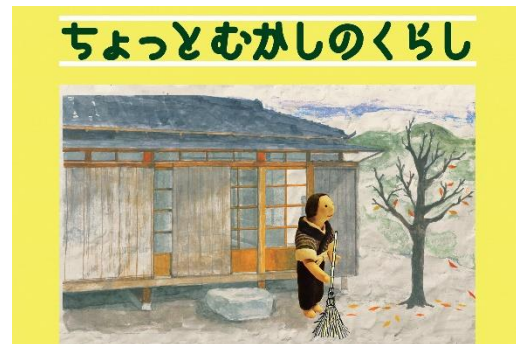


写真2 展示のメインキャラクター「きくえさん」

大東市ふるさとクイズ

Let's try!

大東市教育委員会では、小学校社会科副読本『わたしたちの大東市』をもとに、3年生の希望者を対象に「ふるさとジュニア検定」を実施しています。検定受検者には記念の缶バッジ、合格者には「大東ものしり博士認定証」が授与されます。

下の問題は、その検定の一部です。3つの中から答えを選んでください。

(1) 御領にある工場では、からだの不自由な人が使う器具を作っています。人だけでなく、ある生き物の義足もつくりました。その生き物とは何でしょう。

- ①ウミガメ ②パンダ ③ハト

(2) 大東市で1けんだけの専業農家では、ある昆虫をつかって受粉させます。その昆虫は何でしょう。

- ①チョウ ②ハチ ③トンボ



…正解は、このページの下!

★大東市ふるさとクイズの答え…(1)①、(2)②